

2016/08/26

子ども自然エネルギー体験教室

青木 豊明

この夏は、主に小学生対象の子ども自然エネルギー体験教室を5回おこなった。大阪市環境局の子どもエコクラブ、大阪市立図書館の図書館 deECO、そして京都市公園課などの主催によるものである。

内容は、電気の発生のメカニズムのデモ、自然エネルギーとしての風力発電やピコ水力発電のデモ、そして果物電池の製作、燃料電池の製作、新しく付け加えたのが炭電池の製作。暑かったが、子どもたちが楽しんでいる様子を見れば、疲れもとれる。

右のスナップ写真(左)は、京都市宝が池公園子どもの楽園の横の川に、ラセン水車を子どもたちと設置しているところである。日照り続きで水量が少ないので、写真(中)は流れをラセン水車に行くように子どもたちが石を積んでいる。この作業、子どもたちは夢中でしていた。非常に良い協働作業だった。そして最終的にラセン水車がまわり、写真(右)の中央の木箱内の5色30球のイルミネーションと横向きの10連白色LEDが点灯し、記念撮影となった。

やはり、子どもはポケモン GO よりも、野外で活動した方が生き生きとしている。そんな場を今後も提供していきたい。

